

一 般 質 問

3月議会では、4名の議員が一般質問を行いました。

電子黒板で学校ICT化を

一山 稔 議員

電子黒板は、動画を見たり書き込んだり、調べることで理解が深まり、学力向上にもつながり、教師も教材作成の時間短縮でき、子どもにじっくり向き合える時間が取れるようになったとの効果も言われています。ICT(情報通信技術)化で学力や技術力の向上と
思う反面、個性のある先生や子どもにとっては、それぞれに合った変化のある教え方ができず、子ども独自の持ち味が出せるのかなと思います。電子黒板を使った授業では一律の教え方になるのではないのかなという思いもあります。電子黒板に対する見解と導入への考えをお伺いします。

町長

電子黒板、電子教科書、NIEの新聞利用、授業導入と携帯端末機器の発達と

ともに教育現場には機器の導入が始まっています。

一昨年難聴児が一年生に入り、聞こえないもので、いつも憂鬱な顔をしていたのですが、難聴児用の機器を県下で初めて導入し、その子が明るい表情で授業に臨んでいたのに感激しました。

教育長

電子黒板は授業の中で使いやすいか、文字は書きやすいか、準備に時間が掛かるか、システムに負担を感じるか、教科等の準備に負担が掛からないか、先生方に聞きました。結果は良いとす高い値です。意欲を高めるとか理解を深める、表現や技能を高めるなどは、良い効果だと答えています。反面、授業中での考えをみんなに広げていくとか深めていくことについては、教職員の半数から疑問視す



電子黒板を使つての授業

る声が出ています。従来の黒板と併用しなければ、授業を深めたり、力をつけてゆけないのではという結果でした。定着には時間がかかると思うし、使つて授業をしてみたい気持ちは大変大きい。現場の意見や希望を十分聞き考えていきたいと思ひます。

電子教科書

導入について

一山議員

教科書の文章や情報、データをデジタル化して音声で読み上げたり、拡大したり、色を反転させたりして、学習障害がある児童生徒が一人で教科書が読めるようになり、学習意欲がわいた、本が好きになったという話も聞かれます。

一方では活字離れが進むと懸念する声がありますが、障害のある子どもにとって、デジタル教科書はあった方がよいというものではなく、なくてはならないものであ